

2020 年 4 月 14 日

北星学園大学・北星学園短期大学部

2021 年度入学者選抜について

北星学園大学・北星学園大学短期大学部では 2021 年度（2020 年度実施）の入試から選抜方法等が変わります。変更点の概要をまとめましたので、ご確認ください。本学の受験を考えている受験生の皆さんは、大まかな変更点を理解したうえで、早めに準備していただければと思います。試験の内容や出願期間等の詳細については、入試要項のかたちで 7 月下旬に受験生 Web で公開する予定です。

なお、ここでお知らせした内容は、一部変更となる場合があります。

I 入試区分の変更について

ポイント 入試区分の変更にともない入試の名称が変わります。また、短期大学部については、入試が 1 つ増えます。

2019 年度実施		2020 年度実施
一般入試		一般選抜
大学入試センター試験利用入試 （Ⅰ期・Ⅱ期）		大学入学共通テスト利用選抜 （Ⅰ期・Ⅱ期）
【大学】公募推薦入試		【大学】総合型選抜
【短期大学部】 自己推薦入試	→	【短期大学部】 総合型選抜（Ⅰ期） 総合型選抜（Ⅱ期：自己推薦型）
指定校推薦入試		学校推薦型選抜
特別入試（社会人入試、帰国生徒 入試、外国人留学生入試）		特別選抜（社会人選抜、帰国生徒選抜、 外国人留学生選抜）
編入学		編入学者選抜

II 一般選抜および大学入学共通テスト利用選抜について

ポイント 一般選抜と大学入学共通テスト利用選抜については、基本的には試験科目と配点に変更はありません。ただし、大学入学共通テスト利用選抜では「英語」の配点が一部変更になり

ます。また、一般選抜と大学入学共通テスト利用選抜の双方において、主体性等の評価が新しく加わります。なお、英語外部検定試験は利用しません。

1 試験科目及び配点について

- ① 一般選抜については、試験科目・配点等の変更はありません。
- ② 大学入学共通テスト利用選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）において、「英語」のリーディングおよびリスニングの配点は次の通りとなります。なお、斜線部を引いた学科では、リスニングの得点は合否判定に利用しません。

【Ⅰ期】

学部	学科	リーディング	リスニング
文	英文学科	320 点	80 点
	心理・応用コミュニケーション学科	160 点	40 点
経済	経済学科	200 点	
	経営情報学科	200 点	
	経済法学科	200 点	
社会福祉	福祉計画学科	200 点	
	福祉臨床学科	200 点	
	福祉心理学科	200 点	
短期大学部	英文学科	120 点	80 点
	生活創造学科	100 点	

【Ⅱ期】

学部	学科	リーディング	リスニング
文	英文学科	320 点	80 点
	心理・応用コミュニケーション学科	160 点	40 点
経済	経済学科	160 点	40 点
	経営情報学科	160 点	40 点
	経済法学科	160 点	40 点
社会福祉	福祉計画学科	160 点	40 点
	福祉臨床学科	160 点	40 点
	福祉心理学科	160 点	40 点

短期大学部	英文学科	240 点	160 点
	生活創造学科	200 点	

2 主体性等の評価について

- ① 主体性等の評価については、Web 出願の登録時に、主体性等にかかわる所定の内容を入力していただき、その内容を合否判定に利用します。内容の詳細は入試要項で確認してください。
- ② 配点は次の通りです。

試験区分	大学	短期大学部
一般選抜	5 点	3 点
大学入学共通テスト利用選抜	10 点	5 点

3 英語外部検定試験の利用について

一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜において、英語外部検定試験は利用しません。

III 総合型選抜（大学、短期大学部Ⅰ期）

ポイント 昨年度まで実施していた大学の公募推薦入試が総合型選抜に変更となります。また、短期大学部の自己推薦入試も総合型選抜に変更になるとともに、2回の受験が可能になります。大学の総合型選抜と短期大学部の総合型選抜（Ⅰ期）では、2段階の選考を行います。

1 大学総合型選抜と短期大学部総合型選抜（Ⅰ期）の選抜方法について

(1) 1次選考（書類審査）

- ① 1次選考は、学修計画書、事前課題に関する書類、調査書の3点を用いて書類審査のうえ合否の判定を行います。
- ② 文学部英文学科のみ、出願資格として英語外部検定試験 CEFR B1 レベル以上のスコアが必要となります。詳細については入試要項をご確認ください。
- ③ 1次選考の合格者には2次試験の通知を Web 出願サイトで行います。
- ④ 1次選考では、大学・短期大学部を含む2学科までの併願が可能です。両方の学科に合格した場合は、2次試験でどちらの学科を受験するかを選択する必要があります。

(2) 2次試験（各学科が指定する学力試験および面接）
受験する学科により試験科目が異なります。

学部	学科	試験科目（配点）
文	英文学科	記述（100点） 面接（100点）
	心理・応用コミュニケーション学科	グループ討議（100点） 小論文（100点）
経済	経済学科	記述（200点） 面接（100点）
	経営情報学科	記述（200点） 面接（100点）
	経済法学科	記述（200点） 面接（50点）
社会福祉	福祉計画学科	小論文（100点） 面接（100点）
	福祉臨床学科	小論文（100点） 面接（100点）
	福祉心理学科	小論文（200点） 面接（100点）
短期大学部	英文学科	英語4技能試験（80点） 面接（20点）
	生活創造学科	面接・口頭試問（100点）

※短期大学部の総合型選抜（Ⅱ期：自己推薦型）と試験科目が異なります。

2 短期大学部総合型選抜（Ⅱ期：自己推薦型）の選抜方法について

学部	学科	試験科目（配点）
短期大学部	英文学科	小論文（100点） 面接（100点）
	生活創造学科	小論文（100点） 面接（100点）

3 総合型選抜における学力試験の内容について

総合型選抜は、学科ごとに学力試験の試験内容が異なります。試験内容は概ね次のように区別しています。1と2に記した試験科目と照らし合わせて確認してください。試験内容の詳細につきましては、7月下旬に受験生 Web で公開します。

小論文	自己の考えを述べることを含む、論述形式の試験
記述	設問の形式は、語句記述問題や選択問題、計算問題や長文記述問題など、多様なものが含まれます
グループ討議	事前に公表するテーマについて、複数の受験者による質疑・議論等を行う試験
英語4技能試験	実践的な英語を学修するために必要な「聴く」「話す」「読む」「書く」という4技能を、どの程度習得しているかを確認する試験
面接	受験者の学修状況や進路・志望等について尋ねる、個人面接形式の試験
口頭試問	事前課題に基づいて質疑応答をする、個人面接形式の試験

IV 学校推薦型選抜

ポイント 昨年度まで実施していた指定校推薦入試が学校推薦型選抜に変更となります。これまでと違うのは、面接試験にプラスして、学力試験が加わることです。

- ① 学力の3要素を多面的・総合的に評価する観点から、これまで実施してきた「面接試験」に加えて学力試験を実施します。
- ② 試験の内容は、受験する学科によって異なります。(a)口頭試問試験、(b)小論文試験、(c)英語4技能試験の中から、1つまたは2つを実施することになります。詳細については、推薦を依頼している各高等学校または中等教育学校に通知します。

【学力の3要素】 学力の三要素とは、①知識・技能の確実な習得、②（①を基にした）思考力、判断力、表現力、③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を示します。